

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（中学校用）

都道府県名	大阪府
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	豊中市立第三中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	7	7	3	24	42
生徒数	251	262	261	9	783	

研究の概要

1. 研究主題

すべての子どもの進路保障をめざして  
 —— 班作りを通して、「学びの意欲」の向上をはかる ——

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 2年生・数学、英語  
 （理由）・生徒の理解の状況に差が出やすい教科、学年であるため。  
 ・生徒同士の信頼関係作りに課題のある学年であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ：教え合い学習のできる学習集団作りの形成</p> <p>研究の見通し（仮説）                  学習や生活において自分を見つめ、自分の課題を出せる班の成立条件を子どもと共に考え、信じあえる仲間作りをする。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班作りの方法とその運用についての学習。</li> <li>・ 議員会と班長会との連携</li> <li>・ 行事と班活動をつなぐ</li> <li>・ 班活動を生かした授業等における学習活動の工夫・実践の研究</li> </ul>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ：授業改革により、「学びの意欲」の向上をはかる</p> <p>研究の見通し                  授業改革のために必要なことが何であるかを共通認識し、教材の精選をはかる。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数学科・英語科で教科の打ち合わせを週一回行い、教材研究を進め、授業の交流をはかる。</li> <li>・ 研究授業を実施する。（可能な限り全教科・全領域に広げる。）</li> </ul>
--------	--

(3) 研究推進体制

- ・ 校内にフロンティア委員会（加配教科各1計3・教務2・小中連携1・生徒指導1・校長・教頭）を発足し定期的に研究協議を進める。
- ・ 必要に応じて各教科・各分掌に討議研究を進める。
- ・ 当該学年においては、毎月1回学習会を開く（具体的に個々の教師が考えて実践できるよう、クラス集団作り・学年集団作りの視点とその方法、及び授業作りの視点についてその理論を学ぶ。）

## 平成15年度の研究成果及び今後の課題

### 1. 研究成果

学校教育自己診断より抜粋（現在の2年生のアンケート結果昨年度との比較）

授業はわかりやすい 53% 60%

授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。55% 73%

授業でわからないことについて先生に聞きやすい。46% 57%

学習で自分が努力したことをわかってくれる先生がいる。52% 63%

班活動、分割授業などを通して、教師からの一方的な授業から教師と生徒、生徒同士が積極的に関わり合う中でそれぞれの相互信頼の中で授業への参加意識、学ぶ意欲が向上してきている。

### 2. 今後の課題

- ・数学、英語科以外の教科に於いても班活動のできる場面を設定する。そのことにより自分の学習面でのつまずきに気付いて、わからないところを聞ける関係作りが容易になると考える。さらに自らの課題、隣の子の課題を知って、課題と向き合う姿勢を育む。
- ・できるだけ多くの教えあいの時間を保障するために、教材の精選をすすめ、授業を編み直していく。数学の確認テスト（小テスト）や英語のチェックカードや単語カード等を活用したりして授業方法の工夫改善を一層取り組む。

### 学力把握のための学校としての取り組み

学校教育自己診断においては全校生徒・保護者・教職員の丁寧なアンケートを実施し、分析を行っている。その結果、生徒、保護者、教師の意識や意識変化などを具体的に把握することができて、学校教育を効果的に改善できるようになっている。学力把握についても様々な質問項目により教師の授業のあり方、生徒の学ぶ意欲や教師と生徒との関係等を把握することができるためその課題を分析して、生徒の学ぶ意欲の向上に結びつけるようにしている。またそれぞれの教科に関わる学力の実態把握については今後研究を進めなければならない。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・保護者への理解・・・オープンスクール（半日の授業参観）を3回実施した。  
学校便り、学年通信、学級通信、学級懇談会、学年親睦会での説明
- ・校内の研究体制の推進・・・11月に全校的に研究授業・研究協議を実施した
- ・校区内の小学校との連携・・・校区内のフロンティア小学校・南桜塚小学校とは夏期休業中に合同担当者会を行ったりお互いの研究授業や協議に参加して小中の連携を進めている。
- ・来年度はさらに普及を計る。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下	4～6学級		
	7～9学級	10～12学級		
	13～15学級	16学級以上		
【指導体制】	少人数指導	T・Tによる指導		
	その他			
【研究教科】	国語	社会	数学	理科
	外国語	音楽	美術	技術・家庭
	保健体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	